

冬休みの特別貸出が始まります！

12月7日(月)～24日(木)



12月7日(月)から24日(木)まで、冬休みに向けての特別貸出を行います。1人5冊まで借りることが可能です。返却期限は、1月8日(金)始業式の日です。冬休みの落ち着いた時間に、普段は読まないジャンルに手を伸ばしてみるのはいかがでしょうか。今回は2年生の修学旅行の関係もあり、早めに貸し出しできるように設定しています。借り損ねることがないように注意して下さい。

10月28日(水) 全校一斉読書会が行われました！

読書週間の一環として、10月28日(水)の5時間目、全校一斉読書会が行われました。各クラス図書委員の進行で実施され、アンケートには「久しぶりに本が読めておもしろかった」、「本を読むいい機会になった」、「定期的に開いてほしい」などの意見が見られました。ご協力ありがとうございました。

11月5日(木) 校内ビブリオバトルが行われました！

11月5日(木)、図書館にてビブリオバトルが行われました。今回は自由参加型でしたが、6人の参加者が集まり、少ないながらも盛り上がりを見せました。投票の結果、チャンプ本は、1-4日野佑飛さんが紹介した『ナミヤ雑貨店の奇蹟』(東野圭吾著)となりました。他にも、『空飛ぶ広報室』、『三匹のおっさん』(有川浩著)、『夜行観覧車』(湊かなえ著)、『キノの旅』(時雨沢恵一著)、『クビキリサイクル』(西尾維新著)が紹介されました。どの本も図書館に置かれているので、興味を沸いた方は手にとってみてください。次回の開催は未定ですが、より多くの参加者が来てくれることを期待しています。ビブリオバトルのルールなどについては、気軽におたずね下さい。

図書委員おすすめ本



『100回泣くこと』中村航著



(小学館)

「100回泣くこと」というタイトルからも想像できるように泣ける話です。結婚を前提にして付き合う若い二人の話ですが、そこにはいろいろな障壁があり、自分自身と置き換えて考えさせるものだったりします。当たり前のようにそこにあるものは、そこにあるだけで奇跡だということ。つまり、「慣れ」によって相手を思いやる気持ちを忘れてはいけなと感じました。映画化もされていてオススメの作品です。(1-3日隈)

『走れメロス』太宰治著



(集英社)

青年メロスは、妹の結婚のために必要な品々を買い求めにシラクスの町を訪れ、多くの人を処刑している暴君ディオニス王の話聞き激怒する。そして暗殺を決意し、王城に侵入。捕らえられ処刑されることになってしまう。親友のセリヌンティウスを人質として、妹の結婚式を執り行う3日後の日没までの猶予を願う。親友との約束を守るために、必死で走るメロスに感動する。(3-4穴井)

『植物図鑑』有川浩著



(角川書店)

ある日主人公のさやかが家に帰ると家の前に若い男が座っていた。「僕をひろってくださいませんか？」それから2人は一緒に住みだした。その男性は植物に詳しく、主人公のさやかは植物についてたくさん知っていく。そのうち2人の中には……。植物について知ることのできるのを読んでみて下さい。(1-3高倉)

Teacher Recommend Books

先生方のおすすめの本の紹介と
突撃インタビューのコーナーです。



第4回目は、国語担当の 藤田由佐先生です。

おすすめの本は『十三ヤ雑貨店の奇蹟』東野圭吾著(角川書店)

時空を超えた交流を描くファンタジー小説。ある3人組が泥棒の逃走中、あばら屋の雑貨店にとびこんだ。そこは現在と過去をつなぐターミナルポイントだった。その牛乳箱には、過去の世界から匿名の悩み相談の手紙が入り込み、彼らは最後の人助けとばかりに回答をしていくことになる。実はその雑貨店の老店主が妻の死後、始めたことだったが、末期癌のため閉店したあとだったのだ。「夢か現実か」「家族か自分の将来か」など様々な悩む過去の人たちはその後、どうやって現実に結びついていくのか…。最後は登場人物が次々にリンクして思いもかけない展開に。人の温かみを感じてじんときること請け合いですよ。

Q. どんな本を読みますか？

A. 読む時間がないので短編を読む。

感動的なもの、重松清などが好き。

Q. 学生時代はどんな生徒でしたか？

A. ぼんやりとした夢しか持っていなかった。

当時新聞部でPCがない中、手書きで新聞を書いてた。

【生徒に一言!!】

本をたくさん読もう!

人生の仮想体験、自分とは違う

人生を楽しんで下さい。

藤田先生、お忙しい中ご協力ありがとうございました!

映画を読み、図書館へ

『レインツリーの国』有川浩著 (新潮社) 映画化! 11/21 (土) 公開

きっかけは「忘れられない本」。そこから始まったメールの交換。共通の趣味を持つ2人が接近するのに、それほど時間はかからなかった。あっという間にどうしても彼女に会いたいと思うようになっていた僕。だが、彼女はどうしても会えないと言う。かたくなに会おうのを拒む彼女には、そうせざるを得ない理由があった――。



新着図書紹介(12月)

『小説の書き方』須藤靖貴著

共作で小説誌の新人賞に応募することになった文芸部の女子高生3人。小説なんて、書いたことはもちろん、ほとんど読んだこともないのに――。読めば読むほど小説が書きたくなる、文章がうまくなる、ひとの気持ちがわかるようになる、実用小説!



(講談社)

『王とサーカス』米澤穂信著



(東京創元社)

2001年、新聞社を辞めたばかりの太刀洗万智は、知人の雑誌編集者から海外旅行特集の仕事を受け、事前取材のためネパールに向かった。現地で知り合った少年にガイドを頼み、穏やかな時間を過ごそうとしていた矢先、王宮で国王をはじめとする王族殺害事件が勃発。実際に起きた王宮事件を取り込んで描いた壮大なフィクション。

- 041 『高校生のための東大授業ライブ 学問への招待』(東京大学出版会)
- 314.82 『18歳からの選挙Q&A』全国民主主義教育研究会編(同時代社)
- 367.9 『王さまと王さま』リンダ・ハーン/スターン・ナイランド絵と文 アンドレア・ゲルマー/眞野豊訳
- 367.9 『タンタンタンゴはパパふたり』ジャスティン・リチャードソン&ピーター・バーネル文
ヘンリー・コール絵 尾辻かな子、前田和男訳(ポット出版)
- 478 『へんてこりんな植物』(パイインターナショナル)
- 601.1 『地域の力―食・農・まちづくり』大江正章著(岩波新書)
- 721.5 『もっと知りたい尾形光琳 生涯と作品』仲町啓子著(東京美術)
- 726 『コウノドリ10』鈴ノ木ユウ著(講談社)
- 913.6 『心霊探偵八雲 ANOTHER FILE 裁きの塔』神永学著(KADOKAWA)
- 913.6 『掟上今日子の挑戦状』『掟上今日子の遺言書』西尾維新著(講談社)
- 913.6 『陽気なギャングは三つ数えろ』伊坂幸太郎著(祥伝社)
- 913.6 『境遇』湊かなえ著(双葉社)